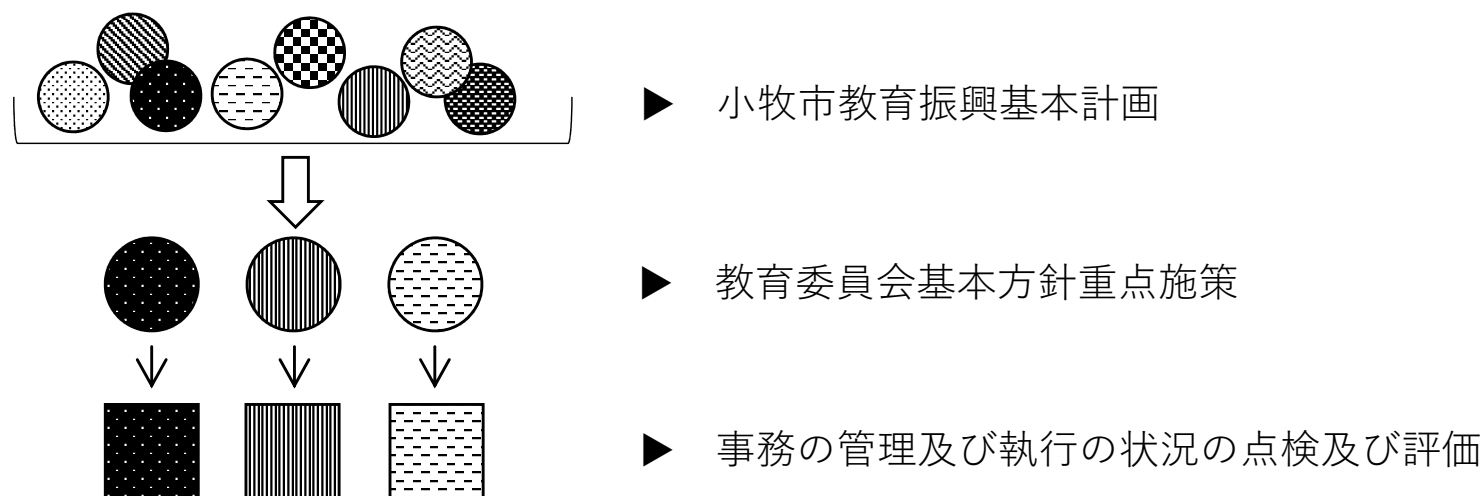


令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

資料1

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価と

教育委員会基本方針重点施策 について



教育委員会では

小牧市教育振興基本計画にある事業のうち

年度ごとに重点的に取り組む事業を選定し、**教育委員会基本方針重点施策**としてまとめています。

重点施策は年度末に実施状況を点検・評価（=**事務の管理及び執行の状況の点検及び評価**）します。

今回は、文化・スポーツ課所管の事業の点検・評価をスポーツ推進審議会で行います。

審議会の意見を反映した実施状況は、評価委員会で重点施策の全ての事業とあわせて点検・評価されます。

小牧市教育振興基本計画評価指標（基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開）

指標名	基準値	目指す方向性 (目標値)	R2	R3	R4
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	46.1%	65.0%	53.1%	53.6%	—
健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	82.6%	↗	87.3%	86.7%	—
健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数	1,232人	↗	225人	412人	96人
スポーツ教室などへの参加者数	6,600人	↗	2,108人	2,459人	2,838人
スポーツ指導者登録者数	298人	↗	295人	288人	278人
指導者を対象とした研修会などへの参加者数	254人	↗	0人	183人	105人
市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数	0件	→	0件	0件	0件
市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	988,001人	↗	349,651人	384,257人	469,015人
パークアリーナ小牧メインアリーナの利用率	78%	↗	76%	75%	76%
パークアリーナ小牧サブアリーナの利用率	86%	↗	84%	85%	84%
南スポーツセンターグラウンドの利用率	36%	↗	39%	42%	43%
2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	21.1%	↗	11.9%	16.4%	—

令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 対象事業（令和5年度小牧市教育委員会基本方針重点施策）

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

<p>施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進 スポーツ教室の開催</p>	<p>小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。</p>
<p>施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進 地域スポーツ活動の推進</p>	<p>地域スポーツ教室の開催をとおして地域スポーツの活性化を図るとともに、小牧市スポーツ協会と連携してスポーツ振興会等の活動を支援します。</p>
<p>施策26 こどものスポーツ活動の充実 こども対象のスポーツ教室の開催</p>	<p>子どもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。</p>
<p>施策26 こどものスポーツ活動の充実 地域部活動の検討</p>	<p>国・県の動向及び近隣市町の状況等を注視し、本市における部活動の望ましいあり方を検討するとともに、少子化の中でも、将来にわたって小牧市の子どもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため地域と連携して環境の整備に取り組みます。</p>
<p>施策28 市民のスポーツ活動を支える環境整備 スポーツ施設の環境整備</p>	<p>新たな多目的グラウンドを整備することにより、市民がよりスポーツに取り組みやすい環境を整備します。</p>

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開 - 施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進

「スポーツ教室の開催」実施状況

(内容) 小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。

小牧市スポーツ協会等と連携して各種スポーツ教室を開催し、市民がスポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツの楽しさや正しい基礎技術を習得することで、市民の体力向上と健康増進を図りました。

※実施状況は別紙参考資料1-1,1-2のとおり



課題

- 定員に満たない教室は教室内容を再考する必要があります。
- コロナ禍が開けて徐々にスポーツをする機会が増えているため、一層市民等に向けてスポーツをする機会を提供していく必要があります。

今後の取組

- ランニング教室は近年参加者数が少なかったため、令和6年度はミニトランポリン教室に変更します。
- 若年層や新規参加者を獲得するため、LINEなどのSNSを活用し、スポーツ教室の情報を市民へ発信していきます。また、参加者のニーズを把握し、開催時期や時間、種目等を検討します。

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開 - 施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進

「地域スポーツ活動の推進」実施状況

(内容) 地域スポーツ教室の開催をととして地域スポーツの活性化を図るとともに、小牧市スポーツ協会と連携してスポーツ振興会等の活動を支援します。

各地域スポーツ団体においてスポーツ教室などを実施し、スポーツ機会の提供を行いました。

※実施状況は別紙参考資料1-3,1-4のとおり



課題

- 地域のスポーツ教室への参加者を増やしていく必要があります。
- 誰でも気軽にできるニュースポーツを地域へ普及させていく必要があります。

今後の取組

- 参加者数の拡大に向け各校区でのスポーツ教室について、LINEを活用した情報周知の仕方を検討します。
- 地域スポーツ団体とスポーツ推進委員等が連携して、ニュースポーツの普及を図るなどスポーツを実施する機会を提供し、地域スポーツの推進を図ります。

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開 - 施策26 こどものスポーツ活動の充実

「こども対象のスポーツ教室の開催」実施状況

(内容) こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。

親子ふれあい体操教室や小牧市スポーツ協会主催のジュニア体操教室などを開催し、こどもたちが楽しくスポーツに親しむ機会を提供しました。

※実施状況は別紙参考資料1-5,1-6のとおり



課題

- こどもたちにスポーツの楽しさを知ってもらい、継続してスポーツに取り組んでもらう必要があります。

今後の取組

- 教室に参加したこどもたちにジュニア育成活動などの周知を行い、短期的な教室で終わらせることなく継続して運動ができるよう案内していきます。
- 引き続き、加盟競技団体やスポーツ推進委員等と連携し、スポーツ教室がこどもたちにスポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツに関心を持ってもらうきっかけの場となるよう努めます。
- 親子ふれあい体操教室は、より参加がしやすいよう、2期10回制から3期8回制に変更します。

「地域部活動の検討」実施状況

(内容) 国・県の動向及び近隣市町の状況等を注視し、本市における部活動の望ましいあり方を検討するとともに、少子化の中でも、将来にわたって小牧市のこどもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、地域と連携して環境の整備に取り組みます。

学校部活動の地域連携・地域移行を検討するため、小中学校部活動検討委員会モデル校情報交換会を開催しました。

検討状況

令和5年11月27日（月） 小中学校部活動検討委員会モデル校情報交換会
議題：令和5年度モデル校の取組について
令和6年度の取組について

※令和5年度モデル校における成果

地域連携の一環として「拠点校部活動」に取り組んだ。バスケットボール部を設置していない篠岡中学校の生徒が、拠点校である桃陵中学校のバスケットボール部の活動に参加するとともに、夏の中学校大会にも参加することができた。

※今後、小中学校部活動検討委員会を開催予定

※中学校部活動の現状については、参考資料1-7,1-8のとおり

課題

- 生徒数の減少等により学校単位の部活動を維持していくことが困難な状況にあります。
- 地域連携をどのように進めるか、枠組みを検討する必要があります。
- 地域における指導者の量を確保する必要があるとともに、指導者の質を高めていく必要があります。
- 活動場所、用具の確保、責任の所在、受益者負担（保険料や指導員の謝礼等）などについて、検討をする必要があります。

今後の取組

- 国、県の動向及び近隣市町村の状況を把握するとともに、モデル校の教員、保護者、生徒等へアンケートを行い、部活動に対する考えや現状を把握します。
- モデル校を小牧中、桃陵中の2校から、小牧西中、篠岡中、光ヶ丘中の3校を加えた5校に拡大し、小牧中、小牧西中の2校、桃陵中、篠岡中、光ヶ丘中の3校のそれぞれのエリアにおいて地域連携のあり方について検討を進めていきます。

「スポーツ施設の環境整備」実施状況

(内容) 新たな多目的グラウンドを整備することにより、市民がよりスポーツに取り組みやすい環境を整備します。

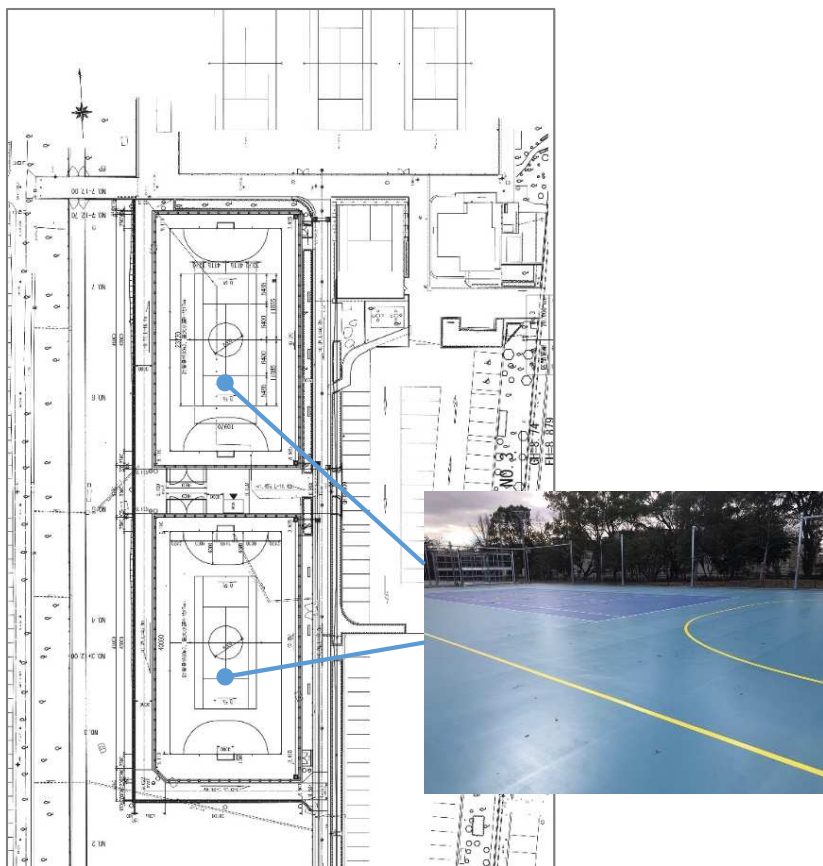
【施設概要】

場 所：小牧市新小木四丁目地内

コート：フットサル兼テニスコート2面

ゴムチップウレタン弾性舗装（ハードコート）

設 備：ナイター照明8基、防球ネット5m



全体スケジュール

R 4
設計

R 5
工事

R 6
運用

達成状況

- 工事が順調に進むよう、施工業者及び関係課と連携を取りながら、工事の監理・監督を行いました。
- 多目的コートの運用方法及び料金設定等について、他市町の類似施設を参考に検討を行いました。

課題

- 運用開始後に出てくる管理・運営上のトラブルなどを事前に想定し、限られた人数でも円滑な運営ができるよう検討する必要があります。

今後の取組

- 令和6年度の運用開始に向けて、運営する小牧市スポーツ協会と協議しながら事前準備を行います。
- 新たな施設を多くの方に利用していただけるようホームページ・広報等での周知を行います。